相貌から読み取られる性格の情報

(Ⅳ) 対人印象と性格特性の自己評価の関係

益谷 真

(敬和学園大学人文学部)

キーワード：素朴理論、相貌認知、対人印象

Interpersonal impression of personality through face recognition (IV)

Makoto MASUTANI

(Keiwa College, Faculty of Humanity)

Key words: *implicit theory, face recognition, interpersonal impression*

目 的

相貌には身心の特性（主に性別、年齢、人種といった生物学的特性）が現れ、さらに性格の印象も暗黙知に形成させる。コルマン（1985/2005）は顔立ちから読み取られる特性の中でも、外向性と攻撃性に注目している。従来の対人印象の研究でも、初対面では顔が最も重要な情報源であり、相貌の特徴（たとえば眉が太い等）が特定の性格特性とステレオタイプに結びつくとされている（宮本・山本, 1994）。一方、対人認知構造の研究でも、性格特性は主要な認知構成体であり、個人的な親しみ易さ、社会的望ましさ、活動性などが主要な評価次元であることがわかっている（林、1978, 1979, 1981, 1982 等）。しかし、この対人認知の評価次元は顔だけの情報しか得られない場合にどの程度まで有効かは明らかではない。

そこで本研究では、上記のような問題意識を背景にして、自身の性格が初対面の他者からどのようにみられるかの自己評価と、本人の評価による性格特性（ビッグ・ファイブと情動知能）との関連を調べ、どのような性格特性が相貌に現れるかを検討する。

方 法

予備分析 教養課程の心理学を受講する大学生の中からデータに不備のなかった 95 名を対象にして、自身の性格が人からどのようにみられるかについて、初対面、顔だけ知っている人に分けて、以下の 12 項目について評定させた。評定段階は「まったくない」を 0 点とし、「とてもある」を 4 点とする 4 段階であった。この中から初対面の人からどのようにみられるかに関して、個人的な親しみ易さ（以下、親和性と称する）、社会的望ましさ（以下、社会性と称する）、活動性の尺度を各々 4 項目で構成した。

性格特性の自己評定 ビッグ・ファイブは村上・村上（1999）を用い、妥当性があり建前回答ではないものを分析対象にした。情動知能は EQS（内山・他, 2001）を用い、妥当性の確認されたものを分析対象にした。各尺度得点の範囲はいずれも 0 点から 12 点である。

結果と考察

初対面の人からどのように見られるかの自己評価 対尺度値を下記に示す。先行研究（益谷, 2009）の 248 名のデータ

と比較すると、サンプル数の影響も考えられるが、3 尺度ともに平均値が低くなり標準偏差が若干大きくなったが、 α 係数は変わらず、尺度間の相関は低くなった。いずれの差違も統計的には有意でなかった。

対人印象の自己評価と性格特性の自己評価の相関 結果を見やすくするために、有意な相関係数を下記に示す。相関に歪みがないことを散布図で確認したところ、はずれ値が相関を低めている場合もあったが、希薄化を修正しなかった。

尺度名	親和性	社会性	活動性
ビッグ・ファイブ			
外向性	.34		.65
調和性	.21		
誠実性			
情緒性			
開放性		.24	.25
情動知能			
感情察知			
自己効力		.26	
粘り	.24		.30
熱意	.27		.27
自己決定			
自制心			
目標追求			.26
喜びの共感	.21		
悩みの共感	.45		.21
配慮	.24		
自発的援助	.41		
人材活用	.24		.50
人づきあい	.53		.59
協力	.34		.23
決断		.22	.38
楽天主義			.35
気配り	.21		.24
集団指導		.22	.46
危機管理		.20	.31
機転性			.35
適応性	.35		.46

尺度（項目）	平均	SD	α	尺度間相関
親和性 （温かさ、優しさ、愛想のよさ、人なつっこさ）	6.71	3.10	.83	親和性
社会性 （誠実さ、理性的、堅実さ、思慮深さ）	7.78	2.96	.82	-.06 社会性
活動性 （社交性、積極性、自信、意欲）	6.08	3.29	.80	.25 .13

一覧からわかるように、社会性は相貌に現れにくいことが明らかになった。しかし、顔写真が対人印象の決め手になる履歴書や手配書では、知りたい性格特性はもっぱら社会性であることから、誤った読み取りが生じやすいことが示唆できる。親和性と活動性が性格特性と整合することから、顔から読み取る性格特性は、それほど的是なことはないと考えられる。